

熊本地震に際し、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
皆さまのご健康と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

～**～熊本復興支援プロジェクト～**～



熊本大学工学部 まちなか工房 第135回 3月のまちづくり学習会

中心市街地の都市回遊路ワークショップ Vol.1 ～来街者の立場で三泊四日の熊本旅行を考える～

国内の総人口が減少するなか、三大都市圏以外の外国人宿泊者数は 2020 年の東京五輪の年に 15年比で 2 倍に、2030 年には同比 5 倍になるという統計が出されています。一方、宿泊客を受け入れる熊本の中心市街地では、熊本駅から新町・古町エリアと中心部、商店街と桜町エリア、白川・坪井川沿いや歴史的な薩摩街道など、滞在型観光を促す回遊のあり方が今後の課題です。今回の学習会では、宿泊客はどのような体験があると回遊し、滞在するのかについて「5W1H (Who:だれが、When:いつ、Where:どこで、What:何を、Why:なぜ、How:どのように)」の視点で考えていただきます。初回は、自らとは異なる来街者の立場になりきり「市内宿泊三泊四日の熊本旅行」をテーマとした旅のシナリオを創造します。熊本に足りないと思われる視点やターゲット像を抽出することで、2回目以降に続けたいと考えています。

ファシリテーター 増山晃太 氏 (まちなか工房研究員), および
熊本市中心市街地グランドデザイン検討WGメンバー

日時 2018年3月28日(水) 18:30～20:00

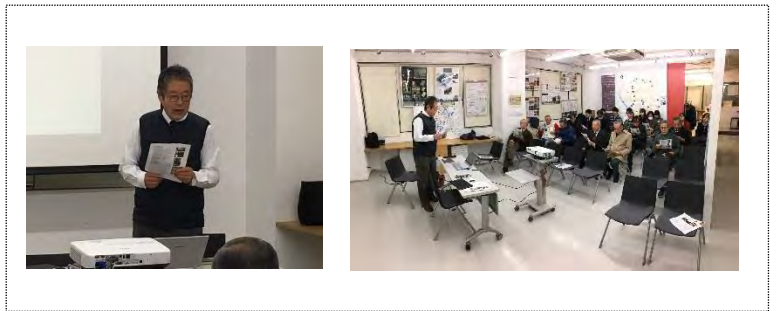
場所 まちなか工房 熊本市中央区南坪井町 1-5
上通並木坂サンコスメディオ2階

入場
無料

■まちづくり学習会について

まちなか工房では月に一度、中心市街地関係者や市民を対象に『まちづくり学習会』を開催しています。県内外から専門家や実務経験者を招いて講演を開き、中心市街地活性化策についてさまざまな意見交換をしています。

学習会終了後には、講師の方を囲み1コイン懇親会も行っています。まちづくり学習会の御案内を e-mailまたはFAXにて差し上げますので、御希望の方はまちなか工房まで。



第134回まちづくり学習会の様子

■過去の学習会

- 134回 城下町・新町古町地区の復興まちづくりは今
- 133回 熊本城の被害と復旧への取り組み
- 132回 桜町・花畑周辺地区のまちづくりデザインの方向性一
- 131回 私たちの「熊本の復興まちづくり」
- 130回 金沢大学「学都シンポジウム」の報告

富士川一裕(NPO法人熊本まちなみトラスト事務局長)
古賀丈晴氏(熊本市経済観光局熊本城総合事務所技術主幹)
熊本市都市建設局都心活性推進課技術主幹 永野康裕氏
熊大工学部附社会環境工学科3年生、担当教員:田中尚人・星野裕司
まちなか工房研究員 増山晃太

共催:文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「減災型地域社会のリーダー養成プログラム」
熊本大学 熊本復興支援プロジェクト

お問い合わせ
まちなか工房 下田・岡村
e-mail:machi-kobo@cotton.ocn.ne.jp
tel/fax:096-326-9502